

授 業 科目名	【 G 】	総合的な学習の時間指導法	区	分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	総合的な学習の時間指導法				【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】	教員の免許状取得のための 必修科目					
		【 H 】	教員の免許状取得のための 必修科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等		総合的な学習の時間の指導法						
サブ タイトル	受け手からつくり手へ、その授業づくりの可能性					担当者	後藤 雅彦	
授業概要	【概要】	【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 【概要】 この総合的な学習の時間の授業は端的に言えば、授業者だけの裁量「独りでできない」「一人につくれない」ところに、実は現場での難しさとその達成の喜びがある。校内であれば学級、学年、学校組織との機能連携。校外であれば保護者(家庭)、地域、社会との協力連携をどうするかという側面がある。このことと学習主体となる生徒の成長や将来性を絶えず見通す授業展開が何かを再考する。 創設の意図やつくり手(教師側)に求められることを、先進的事例研究でまず学び取る。まとめとして自らの教育実習校における総合的な学習の時間の特色は何かを調べ発表する。今後の教育実習等を踏まえ、校内や学年組織でどう協働したらいいのかを学んでいく。						
	【到達目標】	○総合的な学習の時間の創設のねらい、その目標や内容について理解することができる。 ○総合的な学習の時間がどのような成果を上げているのか、事例検討とその発表会を通して理解することができる。 ○授業づくりの立場から、学校・学年組織機能面に沿ってその実際や評価にどのような課題があるのか理解することができる。 ○総合的な学習の時間のつくり手・教師に求められる資質能力について内省し、足りない力の獲得に歩み出すことができる。						
履修条件	教職課程を履修している者							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	特別活動指導法、各教科の指導法							
教科書	特に指定しない。授業の中で必要に応じ参考文献等を紹介する。							
参考書	文部科学省『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)』アイフィス 文部科学省『今、求められる力を高める総合的な探求の時間の展開(高等学校編)』アイフィス 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探求の時間編』							
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題への取組内容(30%)、プレゼン資料・小論文提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック 方法	毎時間の「復習シート」、課題取組(プレゼン含む)へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業	【 G 】	総合的な学習の時間指導法	区	分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	総合的な学習の時間指導法				【 H 】 2		【 H 】 2
授業回数	授業内容							
1	オリエンテーションー総合的な学習の時間で何を学んだかー							
	予 習： 90分を目途に、受けて来た授業の印象とその理由を振り返る。				復 習： 90分を目途に、印象に残っている(残っていない)理由を整理する。			
2	総合的な学習の時間の創設ーなぜ、この授業は導入されたのかー							
	予 習： 90分を目途に、創設の理由を調べる。				復 習： 90分を目途に、授業の意義をまとめる。			
3	総合的な学習の時間の要請ー学習指導要領が求めるこの授業の背景、目標、内容を知るー							
	予 習： 90分を目途に、学習指導要領の解説を読み取りポイントを見つける。				復 習： 90分を目途に、めざす授業像を整理する。			
4	総合的な学習の時間の調査ーイチオシの事例を探る①ー							
	予 習： 90分を目途に、授業の具体的な成果を調べる。				復 習： 90分を目途に、イチオシの理由を整理する。			
5	総合的な学習の時間の調査ーイチオシの事例を探る②ー							
	予 習： 90分を目途に、授業の具体的な成果を調べる。				復 習： 90分を目途に、イチオシの理由を整理する。			
6	総合的な学習の時間の事例ーイチオシの理由から学ぶ① 前半グループー							
	予 習： 90分を目途に、授業のつくり手として何が変わるのか考える。				復 習： 90分を目途に、授業のつくり手として何が変わるのか考える。			
7	総合的な学習の時間の事例ーイチオシの理由から学ぶ② 後半グループー							
	予 習： 90分を目途に、授業のつくり手として何が変わるのか考える。				復 習： 90分を目途に、授業のつくり手に求められるものをまとめる。			
8	総合的な学習の時間の課題ー学校現場ではどのようにして授業を進めているのかー							
	予 習： 90分を目途に、受けて来た授業の具体を書き出す。				復 習： 90分を目途に、授業のつくり手に求められるものをまとめる。			
9	総合的な学習の時間の課題ー学校現場ではどのようにして評価しているのかー							
	予 習： 90分を目途に、受けて来た授業の具体を書き出す。				復 習： 90分を目途に、授業のつくり手に求められるものをまとめる。			
10	総合的な学習の時間の実際ー私の教育実習校の場合① 目標ー							
	予 習： 90分を目途に、実習校の現状を可能な範囲で調べる。				復 習： 90分を目途に、特長や魅力を整理する。			
11	総合的な学習の時間の実際ー私の教育実習校の場合② 特色ー							
	予 習： 90分を目途に、実習校の現状を可能な範囲で調べる。				復 習： 90分を目途に、特長や魅力を整理する。			
12	総合的な学習の時間の実際ー私の教育実習校の場合③ 課題ー							
	予 習： 90分を目途に、実習校の現状を可能な範囲で調べる。				復 習： 90分を目途に、特長や魅力を整理する。			
13	総合的な学習の時間の魅力ー私の教育実習校の場合① 前半グループー							
	予 習： 90分を目途に、プレゼンの準備を完成させる。				復 習： 90分を目途に、「どんな授業・教師」をめざすのか小論文を練る。			
14	総合的な学習の時間の魅力ー私の教育実習校の場合② 後半グループー							
	予 習： 90分を目途に、プレゼンの準備を完成させる。				復 習： 90分を目途に、「どんな授業・教師」をめざすのか小論文を練る。			
15	総合的な学習の時間と教師ーどんな授業、どんな教師をめざすのかー							
	予 習： 90分を目途に、「どんな授業・教師」をめざすのか小論文を練る。				復 習： 90分を目途に、「どんな授業・教師」をめざすのか小論文を練る。			
その他	全体履修人数に応じ発表時間を確保したいため、必要に応じ多少の内容修正をする場合がある。常に、ポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。							